

故障したときは

簡単に直らない故障の場合は故障の状態をご確認の上、お近くの工事店か役所の指定工事店にご依頼ください。指定工事店がどこにあるかわからないときは、役所の上下水道担当窓口にお問い合わせください。なお、ご不明な点がございましたら、お客様相談室にご相談ください。

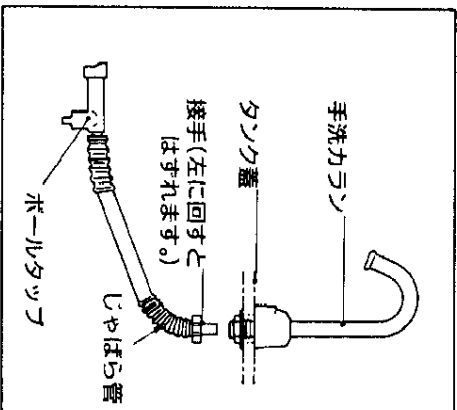
修理を依頼される前に

トイレには、水が止まらない、タンクに水が溜らないなどの故障がときとじて起こる場合があります。

むずかしい故障は、専門の工事店さんに任せるとしても、まず診断して簡単な故障はご家庭で修理されてはいかがでしょうか。

(8ページ参照)

タンク蓋のはずし方



(1)元バルブを閉めてください。

(2)タンクの蓋を取りはずしてください。

(A)手洗無しの場合
タンクの蓋を持上げると取りはずせます。

(B)手洗付の場合
手洗カランとボールタップがじゃばら管で接続されています。
タンクの蓋を持上げてから接手をゆるめると取りはずせます。

水がとまらない

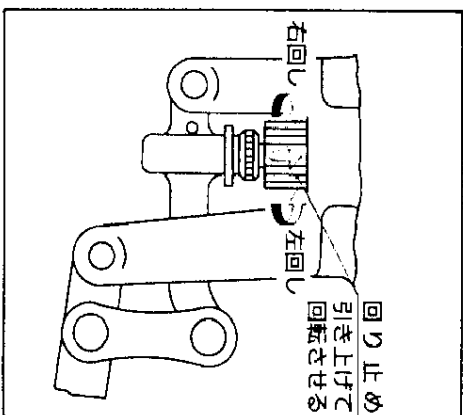
下表に従って修理してください。

状態	(1)あふれている	(2)あふれていない
オーバーフロー管	ボールタップの弁座パッキンの摩耗などにより、止水位が高くなって生じることがあります。	排水井のフロートバルブがいたんでいるために水がとまらないことがあります。
修理の方法	止水位がオーバーフロー管のWLに合うようにボールタップの水位調節部を操作してください。調節方法は次ページをご覧ください。 もし、この調整をしてもなおらないときは修理を依頼してください。	フロートバルブは消耗品です。いたんだら新しいものと交換してください。 継の長さ調節はフックに差込む位置をかえて行います。 4球ぐらいたまるませる。 フロートバルブ

※部品の購入先はお客様相談室にお問い合わせください。

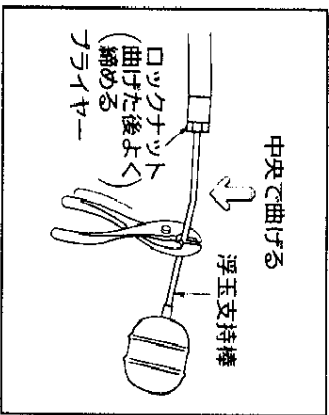
止水水位が合っていないときは
次の要領でタンクに水が溜まったときの水面がオーバーフロー管に印してあるWLに合うように調節してください。

A. 止水水位調節機能付ボールタップの場合



回り止めを図のように引き上げて回すと、水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押えておくとスムーズに回ります。水位が高い場合は上より見て左方向に、水位が低い場合は上より見て右方向に回してください。調節が終わったら回り止めを引き下げて確実にロックしてください。
調節後、水を流し、水位が合っているかご確認ください。(手洗付の場合は、じゃばら管接手を下に向けてください。)

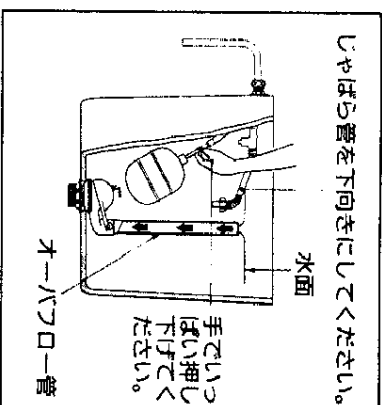
B. 上記以外のボールタップの場合



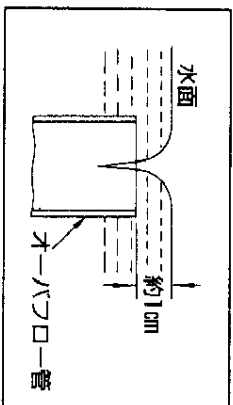
浮玉支持棒を折れないように注意して曲げて水位を調節してください。

タンクから水をあふれさせないために

万一、ボールタップが故障した場合、水が止まらなくなると、タンクからあふれることがあります。次の要領であらかじめ元バルブを調節し、万一ボールタップの水が止まらなくなってもタンクから水があふれないようにしてください。



じゃばら管を南向きにしてください。



- (1)元バルブをしめてタンクの蓋をとり左図の要領で水が飛び散らないようにしてください。
(タンクの蓋は7ページに従って取りはずしてください。)
- (2)次に浮玉を押し上げて元バルブを徐々に開いてください。
この状態で水面がオーバーフロー管より1cm以上上昇しない程度に元バルブの開きを調節してください。